

廃棄物対策審議会議事録

会議名	平成27年度第3回廃棄物対策審議会
日時	平成27年11月18日(水) 13時30分～15時10分
場所	リサイクルプラザ・プラザ館2階 第3研修室
出席委員	篠山委員、恵良委員、稲葉委員、龍田委員、小木曾委員、鈴木委員、村越委員、中西委員、近藤委員、大谷委員、高岩委員、
欠席委員	秋山委員、松本委員
会長	篠山委員
事務局	古川環境部長、南雲環境部次長兼クリーンセンター所長、糸井副所長、互井副所長、鈴木副所長、金子管理計画係長、藤原収集・リサイクル係長、宮崎管理計画係副主査、宮原管理計画係主事
傍聴人	有り(1名)
議題	(1) 流山市一般廃棄物処理基本計画の答申(案)について (2) その他
資料	事前配布 【資料1】答申(案) 【資料2】流山市一般廃棄物処理基本計画(中間評価) 【資料3】これまでの審議会でもいただいたご意見に対する対応 当日配布 ・ 諮問書 ・ 第2回議事録
議事要旨	別紙のとおり

議事要旨

<ul style="list-style-type: none"> ・開会（13時30分） ・環境部長あいさつ ・職員紹介 ・審議会長あいさつ ・議題 <p>（1）流山市一般廃棄物処理基本計画 答申案について</p> <p>（2）その他</p>	
篠山会長	議題1の「答申案」につきまして、事務局よりご説明をお願いします。
<p>～事務局より資料を説明～</p> <p>これまでの審議会の経緯を説明した。</p> <p>また、資料1の「答申案」を読み上げた。</p>	
鈴木委員	「検討」という言葉が6項目の中に5つ入っています。「検討」という言葉は「やってみただけどできなかった」という意味に感じます。
篠山会長	本日は具体的な内容を決める場ではないですが、本日出た意見を答申するという意味では、「やると決めたことをやる」、といった表現は可能ですので、この後の委員の皆さんのご意見を踏まえ、訂正します。まず、「検討」という言葉に関して、より具体的な表現ができるのであればその方が適切ではないかというご意見でした。
小木曾委員	ごみの分別方法について、一番大事なところですので、もう少しわかりやすくしていただきたいと思います。 また、ホームページは調べられる方ばかりではないと思いますので、広報で周知することが一番いいかと思います。
篠山会長	分別については、審議会でもこれまでご意見をいただいたとおりですので、「広報」という言葉を加えるなどして、より具体的な内容を、強調するような文にさせていただきたいということですね。
稲葉委員	同じ分別について挙げられている文章について、の主語が、市民になっているので、「リサイクルできないものが混同されて排出されていることから」というように言い回しを訂正し、市を主語としたほうが良いと思います。
篠山会長	主語が不明確ですので修正したほうが良いように思います。
中西委員	「検討する」とありますが、具体的に検討する項目はありますか。 資源の取り組みについても、市民の協力が必要ということは分かりませんが、市民の理解が得られるようにどういったことに努めるかがわかりません。また、ごみの分別方法についても、どのようにしたら分別しやすいのかというのもなく、「検討する」と言われても、市民が納得できないと思います。
篠山会長	「検討」という言葉が、逃げる意味合いになっている印象があります。 例えば項目7等を設け、「検討」という言葉を工夫する部分と、具体化するということ表現するのはいかがでしょうか。前向きな表現として「検討します」等と言うことがあるかもしれませんが、具体的に表現できるところはした上で最後にそういった文章を記載すると良いと思います。

	<p>今回の審議会は、市長からの諮問を受け、答申を行うために進めてきましたが、もう一つの役割として、こういった検討を行うことがあげられます。</p> <p>本来もっと具体的にすべきであり、答申案にもそのように記載してはどうかと思います。具体的な表現をする一方で、審議会の重点項目として設定していくといいと思います。</p> <p>今回の答申として、「検討」という言葉を極力控える。また、項目7で「真剣に具体化をすること」と付記する、あるいは各項目で表現するといいと思います。出来る限り具体的に表現したいですが、今回の答申は今日の内容で行うこともできます。</p>
中西委員	<p>審議会に参加していると、検討している内容がわかりませんが、参加していない市民には伝わりません。</p> <p>また、「これは徹底して行う」という内容があると、市民の協力を得られるように思います。</p>
篠山会長	これは市民の思いということでもありますので、表現するのであれば、項目7を設けるといいと思います。
小木曾委員	「設定について進めていく」といった表現ではいかがでしょうか。
大谷委員	「検討をする」というのは、市が行うということですか。
篠山会長	そのとおりですが、市が検討するのではなくて、市と市民と一緒に考えていくとした方がいいと思います。
大谷委員	<p>市の対応として、小さい事柄でも、「検討します」とした後「どのように検討して、このような結果になりました」といった反応がないことが多く、大きい事柄になると、より結果が明確に示せなくなるように思います。</p> <p>誰が検討するのか、検討した結果報告はいつ頃されるのか、そういった説明が必要だと思います。</p>
篠山会長	<p>今回の答申も、「中間評価を踏まえた上で市民と一体になって行動を起こします」という表現を答申に盛り込むことができると、「今後も評価を行い、市民と一体になって行動していく」ということを、示せると思います。より具体的な表現とする中で、「どこで誰が検討してどうするのか」というところも、「役所が行ってほしい」、「市と市民が合同で行いたい」、そういった形で答申案に加えていくという形になると思います。</p>
事務局 (南雲次長)	<p>答申案ということで、これを事務局の指針となり、内容を具体化していきます。例えば、容器包装プラスチック類とリサイクルできないプラスチックについて、二つが混同されて排出されていることから、どのようにこれを分別して排出するかということ、これから具体化していきます。答申で「このようにしなさい、検討しなさい」とご意見を頂戴しますと、そのようにしなくてはなりません。例えば、プラスチックの分別につきましても、具体的な答申としないことで、市民の皆さんにどう伝えるのか、ということから始まり、一例として、汚れたものを別に出そうという考え方も出てくるように思います。そういったことも、答申の中で、指針を頂くことで具体化していく、事務局への動機づけという考</p>

	<p>え方でいいように思います。</p> <p>また、答申後も審議会は続きますので、そういった具体化する案を審議していただきたいと思います。</p>
篠山会長	<p>市長の諮問に対して答申をするにあたり、審議会がまず検討する役割を担っています。ですから、検討するという言葉は、「検討対象を具体化し実行する」ということですね。</p> <p>中間評価の次を踏まえた答申であり、今後の審議会で具体化していくということで、具体化という表現でいいと思います。その上で、「実現に向けて進めていく」ということが印象づけられるような形にしていきたいと思います。</p>
事務局南雲次長)	<p>確かに検討というと、うやむやなところがありましたので、「導入」等の言葉を変えるのも一つの手法かと思えます。</p>
恵良委員	<p>答申案の中の、審議会の中で検討したものについては、具体化した案を記載して良いと思います。</p> <p>例えば、「最低料金の設定について検討すること」とありますが、「導入する」、「具体化する」でもいいように思います。</p> <p>ごみの分別方法も、具体的な話まで出ていますので、「具体化する」、「導入する」でいいように思います。</p> <p>審議会の中で具体的に答えが出ていないものは「検討する」で問題ありませんが、ある程度、答えを導き出しているようなものに関しては、「具体化する」や「導入する」といったわかりやすい言葉にすれば、市民の皆さんも納得されるのではないかと思います。</p>
事務局 (古川部長)	<p>そのようにしたいと思います。</p> <p>この「検討」という言葉への抵抗には、市がどういった取り組みをして、それがどこまで進んでいるかということの周知不足があるかと思えますので、答申を受けて、施策を進行していく中で、途中経過等を報告していきたいと思います。</p>
篠山会長	<p>答申の検討以前から、具体化について検討してきましたので、恵良委員の発言された内容に沿う形で、各項目を修正して頂ければと思います。</p>
恵良委員	<p>学校に設置する大型生ごみ処理機について、流山市で生ごみに関して対策をしているのは、学校の生ごみ肥料化処理機のみだと思います。これにつきましては結果が出せるので、「取り組みましたが、実施しない方がよいと判断しました」ですとか、「こう進めた方がいいという結論になりました」ですとか、又は、「一般家庭からでる生ごみの処理も検討してはどうか」といった答えも導き出せるのではないかと思います。</p> <p>このことにつきまして、「次に進めるべき生ごみ処理の導入を検討すること」と付け加えていただければ、この取り組みが進むと思います。</p> <p>また、取り組みが進みますと肥料化だけではなく、資源化の問題、電力化の問題といった有志での活動があると思いますので、そこでさらに新しい考え方が出ると思います。同時に行おうと思うと、難しい問題ですので、学校での生ごみ処理の取り組みから得られた結果を、一般家庭の生ごみ処理に反映させるという書き方がいいと思います。</p>

篠山会長	他の自治体では、補助を行う事で生ごみについて取り組んでいるという評価を行っているところがあります。一方、流山市では家庭用の生ごみ処理機の補助をしていましたが、あえて、補助を止めました。しかし、生ごみの問題が解決したわけではありませんので、学校に設置する大型生ごみ処理機については、家庭の生ごみ処理にどう反映するのかを検討し、付記していただければと思います。
村越委員	リサイクルできるプラスチックの容器があるということ周知徹底していただければと思います。
篠山会長	やはり、容器包装プラスチック類の部分ですね。 容器包装プラスチック類を洗うということは、排出される水の問題もあり、環境の問題とごみの減量の問題両方が関わるため、今回の答申に記載することについて疑問もあります。 しかし、この審議会でも高い頻度で出てきた内容で、重要と考えています。 ですので、文面を工夫する部分と、今後の審議会の中でより具体化できるよう意見を出し合う部分があるというように思います。
龍田委員	ごみの有料化が大きな問題と把握していますが、流山市も他市と同様に、専用の袋を販売する形とする方がいいように思います。
篠山会長	有料化については、以前の審議会で、検討させていただきましたが、今回の答申には記載しなくても、導入も視野にいたした対応をとれる状況でよいと思います。 状況が変われば、すぐに導入が必要とされるということが考えられますので、対応できるような状況を検討したいと思います。
事務局 (南雲次長)	有料化について以前、諮問答申をさせていただきました。当時は、1人1日当たりのごみ発生量が増加していましたが、現在は減少しています。いずれ増加に転じ、有料化となる可能性はありますが、流山市は一度検討を行っていますので、これまでの経験を活かし、その時以上のものが検討できると考えております。
篠山会長	審議会では、有料化について定期的に確認し、「29年度は前年度と比較し有料化することが効果的であるように変化している」となった際は、導入の具体化をすぐ検討できる体制が必要であると考えます。
近藤委員	ごみ集積所にごみの収集ボックスを設置していただけないでしょうか。また、収集ボックス設置の際は市から補助金などはありますか。
中西委員	自治会がお金を出して買っています。 ごみの収集ボックスについて、市が設置していただくようにできませんか？
篠山会長	ステーション方式を採用した流山のスタイルというのは、コミュニケーション、地域交流につながっていると思います。そのため、ごみステーションにもいい面があるということで、ごみステーションの更なる充実化を検討するというご意見も、審議会でも頂戴しました。ですから、このことも答申案に載せていただくと良いと思います。ごみを介したコミュニケーションを行うことでごみの減量化や捨て方など、様々なことにつ

	ながっていくと思います。
鈴木委員	ごみの収集ボックスの補助金を市から出してはどうでしょうというお話が出ましたが、これにつきまして、現在行っている、資源ごみの集団回収について、報償金を半減することを以前から申し上げております。資源ごみの報償金を活用し、ごみの収集ボックスを設置している自治会もあります。
篠山会長	お話を聞いていますと、ごみステーションがきっかけで、自分のごみをどう出していくかということを考えるきっかけになるという一例ですね。
中西委員	私の住んでいる地区では、若い方の出入りが多く、不法投棄として布団やコンクリートを捨てられたことがあります。その度に自治会の環境部が処理をしていますので、今後どのように具体的な対策をしていくのかということが問題です。
大谷委員	市内には新しく分譲している地区があり、一戸建ての地区は新しくごみステーションを設置しますね。その際に、市から「このようにしてください」というお願いがあるといいと思います。また、自治会を設置する際、転入者しかいらっしやらない場合は、どなたが主導を行っているのでしょうか。
篠山会長	確かに、審議会でも議論した内容であり、答申で触れられていません。また、今のお話でありましたように、新しく流山市民になられた方々にも、今後一緒に取り組んでいただきたいわけですから、新しくこられた方や、分譲地を購入された方に具体的に「こうしてください」という指導を行うこともいいと思います。
事務局 (南雲次長)	区画整理や事前協議で一戸建て住宅の把握ができた場合は、面積に応じて集積所を作ってくださいという開発の指導を必ず行っています。しかし、ミニ開発で3、4軒の場合、新規のごみステーション設置が難しいため、以前からの集積所を自治会の方と相談いただいで使わせていただくという指導を行っています。 また、新築のアパートにつきましては、敷地内に専用の集積所を設置するよう指導しており、加えて、管理会社に分別の指導を行っています。そういった中で、ルール違反のごみが出た場合はこちらから管理会社や大家さんに指導の徹底をしております。 開発行為によらず新築されたところについては、ステーションがありませんので、道路の隅の邪魔にならないところを皆さんで管理して利用いただいでおります。
大谷委員	新しいごみステーションには蓋つきのボックスを置くというお話がありました。ボックスの形式等は決まっていますか。
事務局 (南雲次長)	開発行為の中で、利用者一人につき「ごみステーションを何㎡確保していただく」という基準を設け、ブロック塀で囲み、飛散しないようにしてくださいという形で指導しています。 その上で、開発行為の中の開発業者の中には、ボックスを設けているところもございます。

篠山会長	指導はされていますが、各ステーションで形態が違うということですね。ごみステーションの形態、コミュニケーション、不法投棄について答申に入れていただきたいと思います。
事務局 (南雲次長)	不法投棄、資源物の持ち去りについては、各地をパトロールしています。しかしながら、ステーションは市全体で4,700か所ほどあり、頻繁な巡回が難しいため、情報をいただいたところを重点的に回っております。
高岩委員	「検討します」だけですと、何が問題なのかがわかりません。
篠山会長	今回の答申を踏まえ、今後の審議会で皆様と検討していきたいと思っています。 審議会として答申をする一方で、自分たちで受け止めて議題としてとりあげる必要があるというふうに考えておりますので、次回以降の審議会の中で、一つずつでも具体化できるように事務局と足並みをそろえアイデアを出していきたいと思っています。 続きまして、議題2のその他に入ります。
～事務局より当日配布した第2回廃棄物対策審議会議事録について説明～	
～事務局より送付した流山市一般廃棄物処理基本計画【中間評価】について説明～ ・平成27年度第2回廃棄物対策審議会の内容を反映し修正したことを説明した。 【主な修正点】 ・タイトルを【中間見直し】から【中間評価】とした。 ・本文中の見直しという単語についても、見直しを行った。 ・個別施策の凡例の配置を見やすくした。 ・個別施策について具体的な数値を記載した。 ・し尿処理量の修正箇所について説明した。 【主な修正点】 ・し尿及び浄化槽汚泥の収集量について。	
事務局 (南雲次長)	答申案のまとめ方についてですが、今回頂きましたご意見を踏まえまして、答申案をもう一度修正した形で作り直し、篠山会長にご確認いただいた上で、委員の皆様へ送付し内容を確認していただくという流れとしたいと思います。 皆様から認めていただいた上で、答申書という形で、正式に確定していきたいと考えております。
篠山会長	修正事項は、私もかかわらせていただいた後に、皆様方に送付させていただき、内容をご確認、ご意見をいただきます。 中間評価につきましても、さらにご指摘の部分がございましたら、ご意見いただければと思います。 答申案、及び中間評価の扱いについては今申し上げた流れでよろしいでしょうか。
～事務局より市長への答申の渡し方について説明～ 【案】 ・会長のみが渡す方法 ・会長と代表者が渡す方法	

・全員が渡す方法	
篠山会長	<p>私一人でも行ったことがございますし、前回は鈴木委員にご同席いただきました。</p> <p>市長に答申をお渡しし、その折に懇談したりするとそういった時間を設けていたりもします。</p> <p>皆様いかがいたしましょうか。</p>
鈴木委員	<p>私は答申への参加を希望します。</p> <p>また、委員の皆様の中には、市長室に行かれたことが無い方もいらっしゃるでしょうから、是非一度、行かれてはいかがでしょう。</p>
篠山会長	<p>これまで、皆様と審議会を進めてきたということで、基本、全員で答申を行うということとしたいと思います。</p> <p>以上の内容で事務局には、日程調整をお願いしたいと思います。</p> <p>状況によりますが、答申の場合でも、我々審議会として、市長にお話しできる時間をいただけるのではないかと思います。</p> <p>答申案の渡し方につきましては以上でございます。</p> <p>それでは藤原係長の方からポスターコンクールについてお願いします。</p>
～事務局よりごみ減量促進ポスターコンクールについて説明～	
<p>【要点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の小学校4年生を対象に募集。 ・応募271点のうち学校推薦が82点であった。 ・10月1日に審査会を行い、最優秀賞を含めた13点を審査した。 ・10月19日に市役所にて表彰式を開催した。 ・審査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・10月23日及び11月1日の広報にて周知した。 ・10月15日から21日まで、市役所市民ギャラリーに展示した。 ・10月23日から29日まで、イトーヨーカドー流山店2階ふれあいギャラリーに展示した。 ・10月31日から11月29日まで、リサイクルプラザ・プラザ館1階に展示した。 ・12月下旬より最優秀作品をポスター印刷し、各自治会、団体、小学校の掲示板に展示する。 	
篠山会長	<p>ごみ減量化促進ポスターコンクールの経緯と現状をご報告いただきました。</p> <p>さて、これまで中間評価に関して議論を行い、本日答申（案）についてご審議いただきました。</p> <p>こちらを、事務局の方でまとめていただき、皆さんにもう一度、持ち回りでチェックいただきます。それをもちまして、皆さんと市長に答申に行くという流れが決まりました。</p> <p>市長からの諮問答申に関する審議会は、これで終了ということになりますが、その後のことが、先ほどお話がありましたように、重要であると思います。ですから流山市は、ただ口だけ具体化と言っているわけではないということ、審議会の皆様方と知恵を出し合って、具体的な案としていきたいと思っております。</p>

	それでは、事務局の方にお返しいたします。
事務局 (互井副 所長)	それでは、次回の審議会は、答申書を皆さん持ち回りさせていただきまして、内容の方を調整させていただきまして、作成したいと思います。 次回は市長への答申になりますのでよろしくお願いいたします。 それではこれで閉会とさせていただきます。
閉会 (15時30分)	